

日田市自治基本条例 アンケート調査結果

令和7年12月

総務企画部企画課

アンケート調査の概要

○目的

「市民を主体としたまちづくりの実現を図ること」を目的に制定された「日田市自治基本条例」の第29条では、4年を超えない期間ごとに、この条例の規定内容がどのように制度等に反映され、市民主体のまちづくりの実現が図られたのか検証し、検証結果を市民の参画により検討することが規定されています。

平成30年度から令和6年度まで、隔年で実施した日田市市民意識調査の「市政への参画機会」の質問において、「アンケートへの回答を通じた参画」の回答割合が高かったことから、自治基本条例に関する考え方や関心のある項目、市政に関する情報の満足度や自治基本条例に関する意見等について広く市民の意見を伺うため、Web アンケートを実施しました。

○対象

Web アンケート

- ・市内に住所を有する方・市内に通勤する方・市内に通学する方等

○期間

令和7年9月1日(月)～10月3日(金)

○周知方法

広報ひた9月号、市公式ウェブサイト(自治基本条例見直し(令和7年度)ページ)、
市公式SNS(Facebook、X(旧Twitter)、LINE)

○回答方法

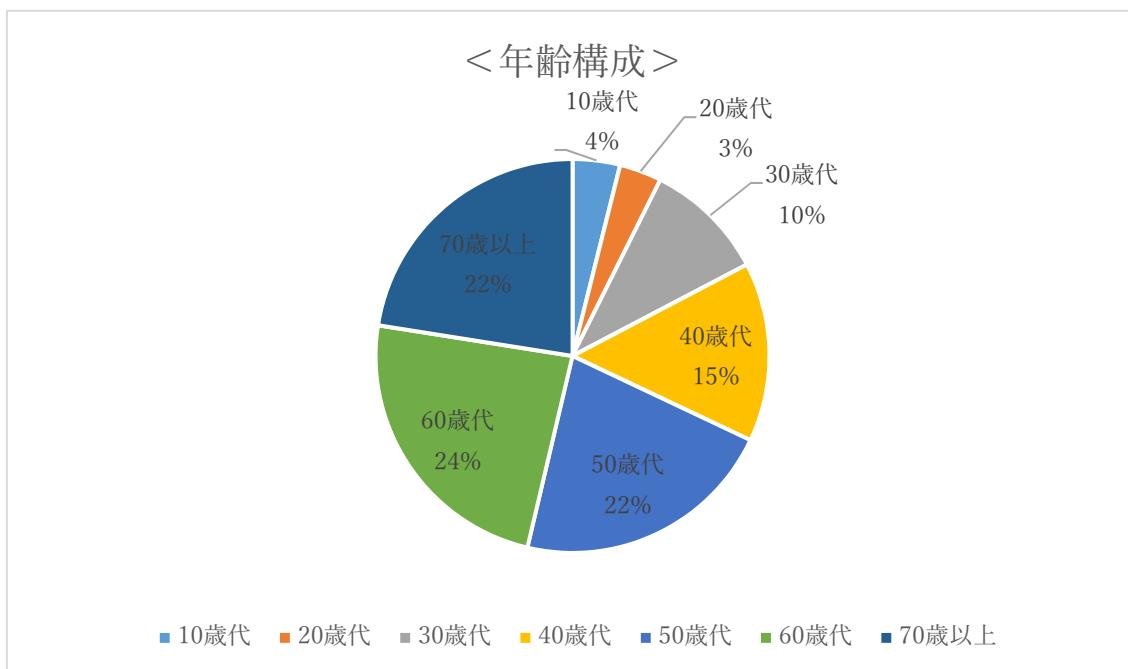
- ・Web アンケート：市ホームページ内の電子申請アンケートフォームにより実施

○回答者数

- ・合計 231人

アンケート結果

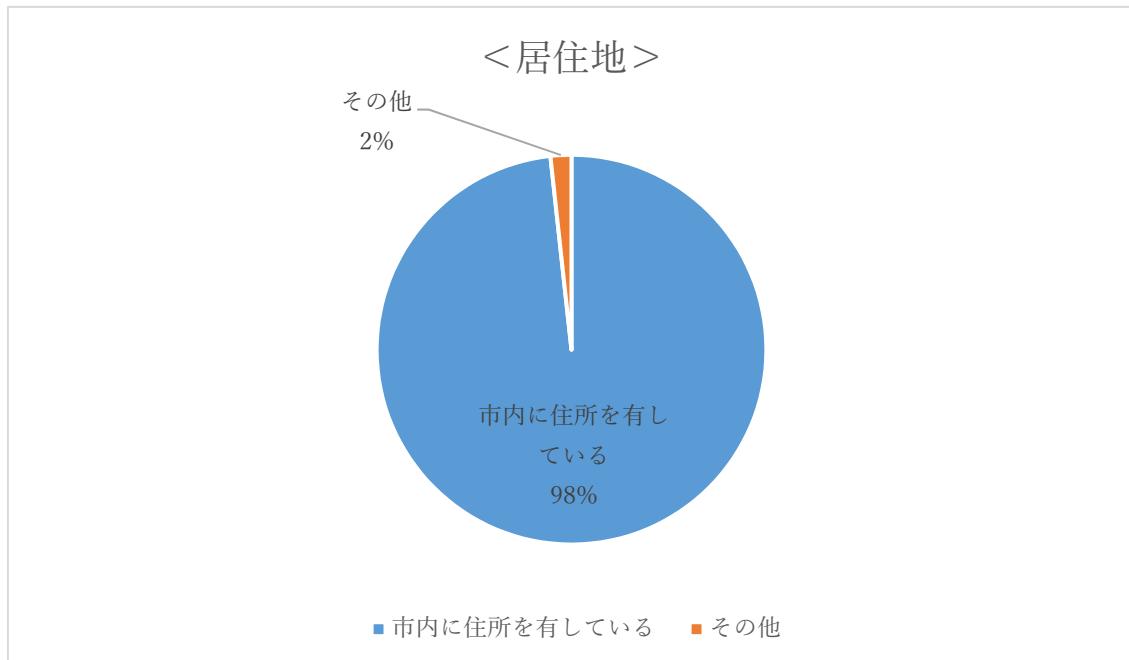
設問1 あなたの年齢をお答えください。



回答者数:231人

年齢	人数	回答割合
10歳代	9人	4%
20歳代	8人	3%
30歳代	23人	10%
40歳代	34人	15%
50歳代	50人	22%
60歳代	55人	24%
70歳以上	52人	22%
合計	231人	100%

設問2 あなたの居住状況等をお答えください。



回答者数:231人

選択肢	人数	回答割合
市内に住所を有している	227人	98%
市内に通勤している (市内に住所なし)	0人	0%
市内に通学している (市内に住所なし)	0人	0%
その他	4人	2%
合計	231人	100%

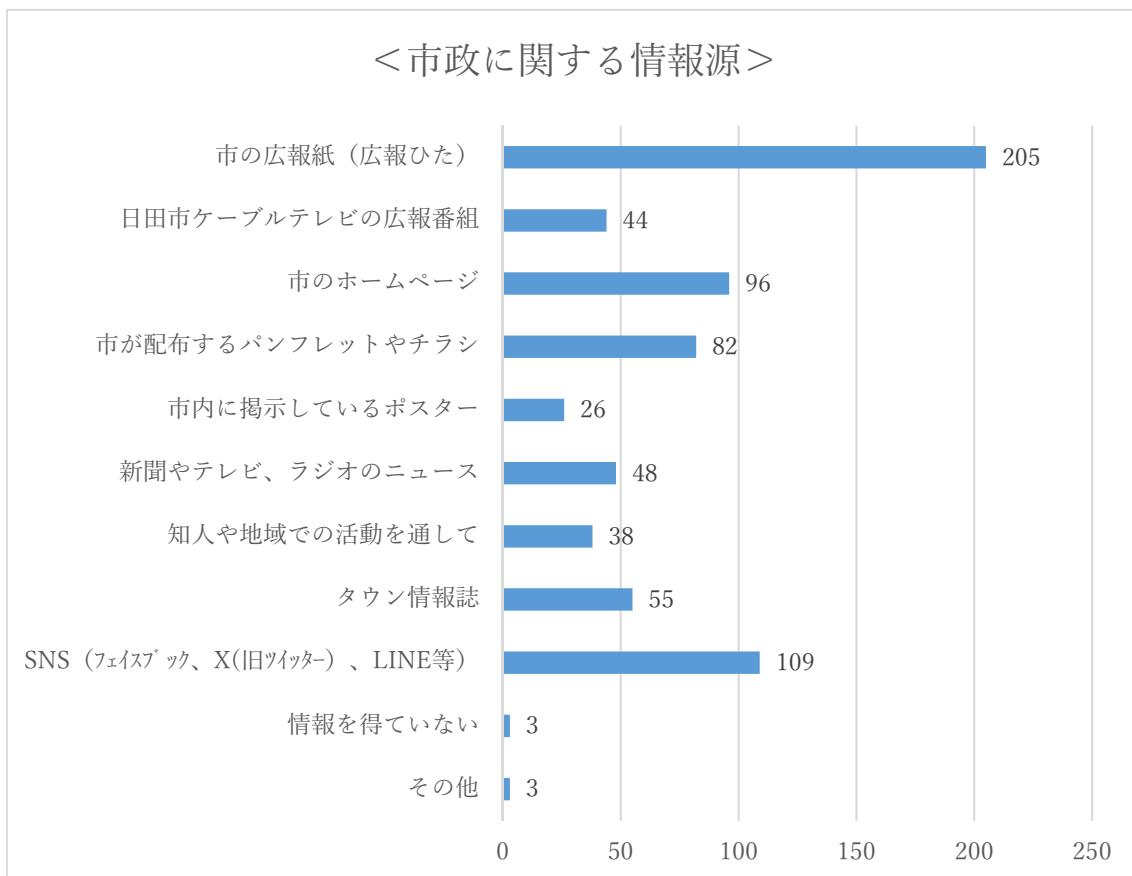
(他の記載内容)

※回答の記載内容どおりに整理しています。

- ・県外居住
- ・ふるさと
- ・出身地であり、現在他県に住んでいるがいずれ数軒の住居を継ぐ予定がある。また月に何度も帰省している。
- ・日田が好きすぎて毎週行ってる

設問3 あなたは日頃、どのような媒体から市政に関する情報を得ていますか。【複数回答】

回答者数:231人

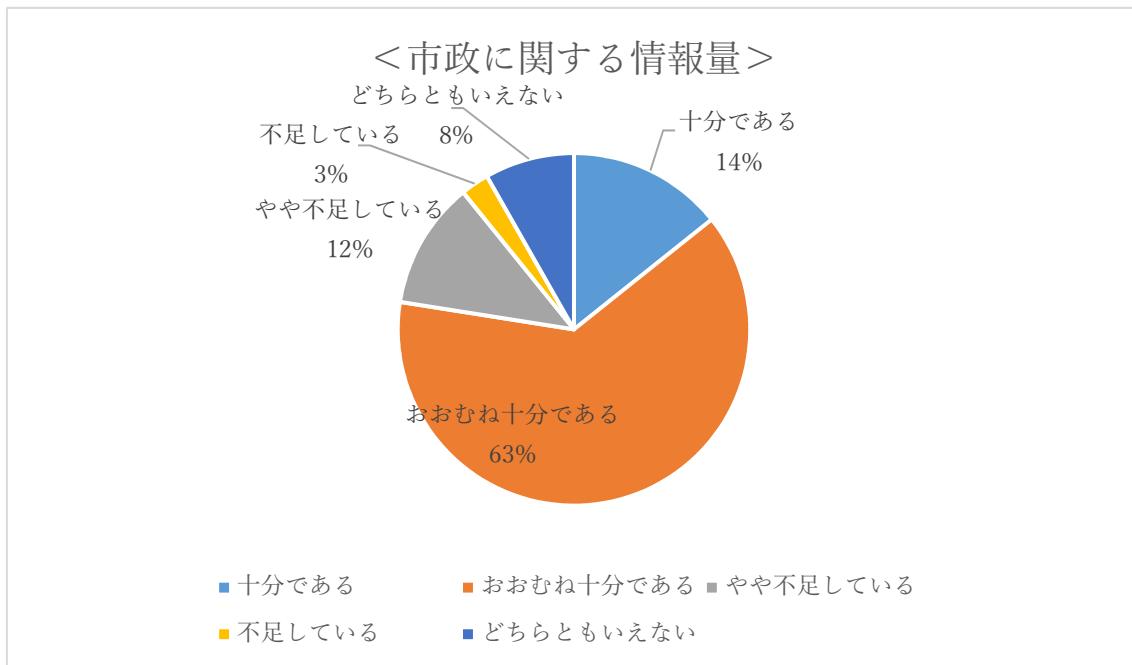


(その他の記載内容)

※回答の記載内容どおりに整理しています。

- ・市からの送信ライン
- ・各種会合への参加
- ・ネット

設問4 あなたが得ている情報は、市の事業（イベントや講座など）や施策（計画や条例など）を知る上で十分なものですか。



回答者数:231人

十分である	33人
おおむね十分である	146人
やや不足している	27人
不足している	6人
どちらともいえない	19人
合計	231人

設問4で「④不足している」「③やや不足している」と回答した方にお尋ねします。

設問4-1 不足している情報はどのようなものですか。【自由記述】

※回答の記載内容どおりに整理しています。

条例があることや挙げられた課題と進捗を知りませんでした。
イベントの案内
イベントや講座
ゴミの出し方で細かい部分がいまいち分からない。 市議会議員の活動が、具体的に何をしているのかいまいちよく分からない。 要望をどこにどうやって出したらいいのか分からない。
何でも
飲食店について
集落等の再生に当たって市の助成、指導など。
計画や条例
催し物等、各種イベント情報
※市内の不登校児の数や不登校児が置かれている環境。 ※不登校児のうち、どれくらいの数が支援機関とつながっているのか、またその支援に対して保護者・不登校児の満足度はどれくらいなのか。 ※市内フリースクールは、義務教育全学年（小1～中3）対象になっているのか。 なっていないのであれば、行政機関で受け皿を準備する考えはあるのか。 ※日田市よりも何倍も小さな街である玖珠町でさえ、有志の奮闘により『学びの多様化学校』が設置されているが、日田市においては設置の考えはあるのか。
不登校児が急増する昨今、全国的にも学びの多様化学校の設置が急がれているが、戦後からの教育体制を今一度見直す転換期に来ているのではないか。 日田市繁栄の基盤を整える上で、不登校児の対応の強化は避けては通れないのではないか。
音楽？美術など文化関連。
教育行政に関する事。予算に関する事。医療福祉に関する事。土木建築に関する事。
地域、街の人々の暮らしの様子
細かいところがわからない
市議会に上程する議案が見れない。 なぜ、市議会議員に議案を配布する前に市民に公開出来ないのか理解できません。 ホームページで見れるのは、議案の概要だけ。最も、市民を大切にすべき。 今様に言うなら、市民ファースト。

施策は忙しい人でもわかりやすく目につきやすいように、イラストや図などを使いながら教えていただきたいです。

またその施策のメリットだけでなくデメリットや課題点も一緒に伝えていただきたいです。

日田で働きたいと思っても、求人が少ない。

社会福祉全般当事者を外した政策の施行

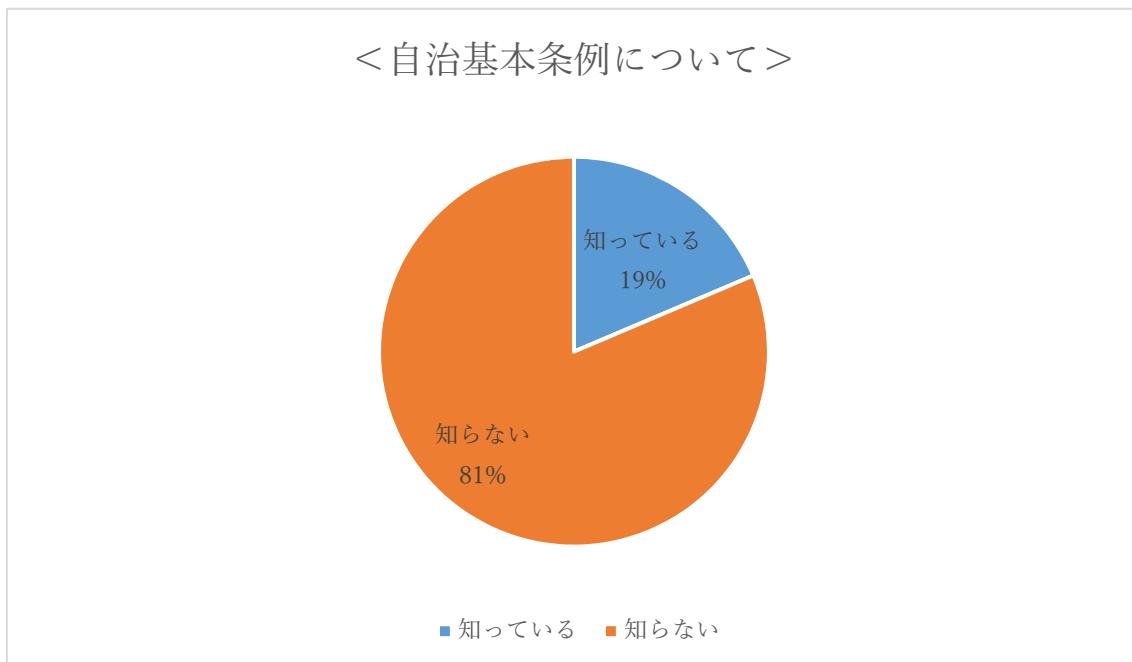
介護の情報をもっと知りたい、助成金とか知らないともらえないものとかを分かりやすく平坦に教えて欲しいし、何処で尋ねたらいいのかよくわからない

全てを公表しているように思わない

市以外の主催のイベント情報など

欲しい情報が見つけにくい

設問5 平成26年4月1日に施行された「日田市自治基本条例」(以下「自治基本条例」という。)を知っていますか。

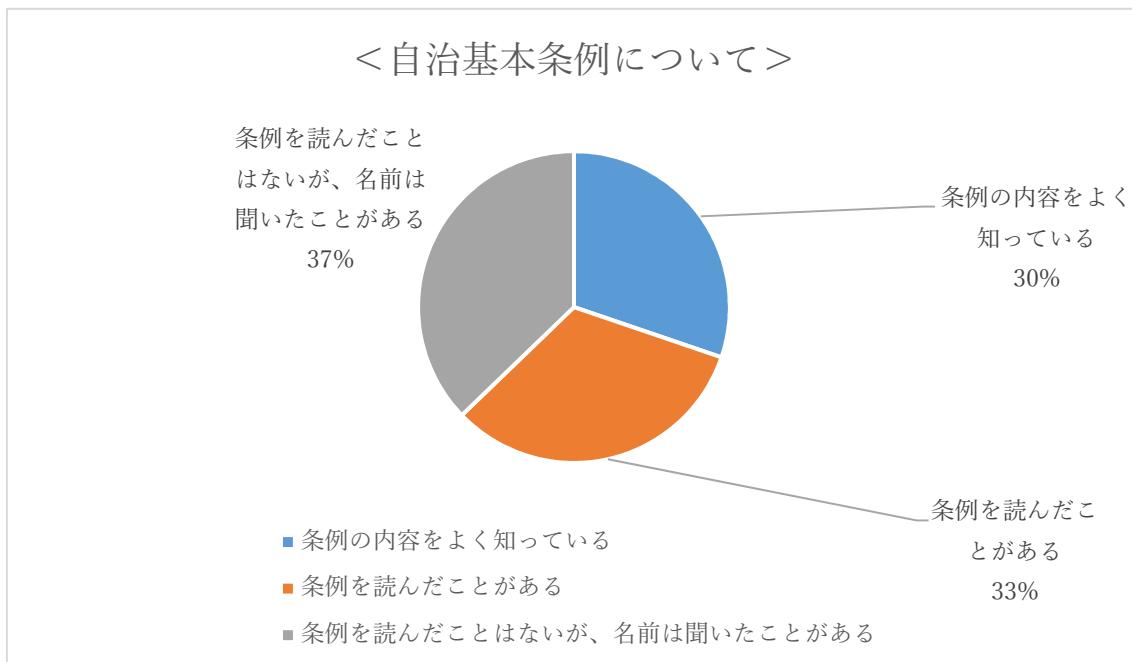


回答者数: 231人

知っている	43人
知らない	188人
合計	231人

設問5で「①知っている」と回答した方にお尋ねします。

設問5-1 「自治基本条例」をどの程度知っていますか。



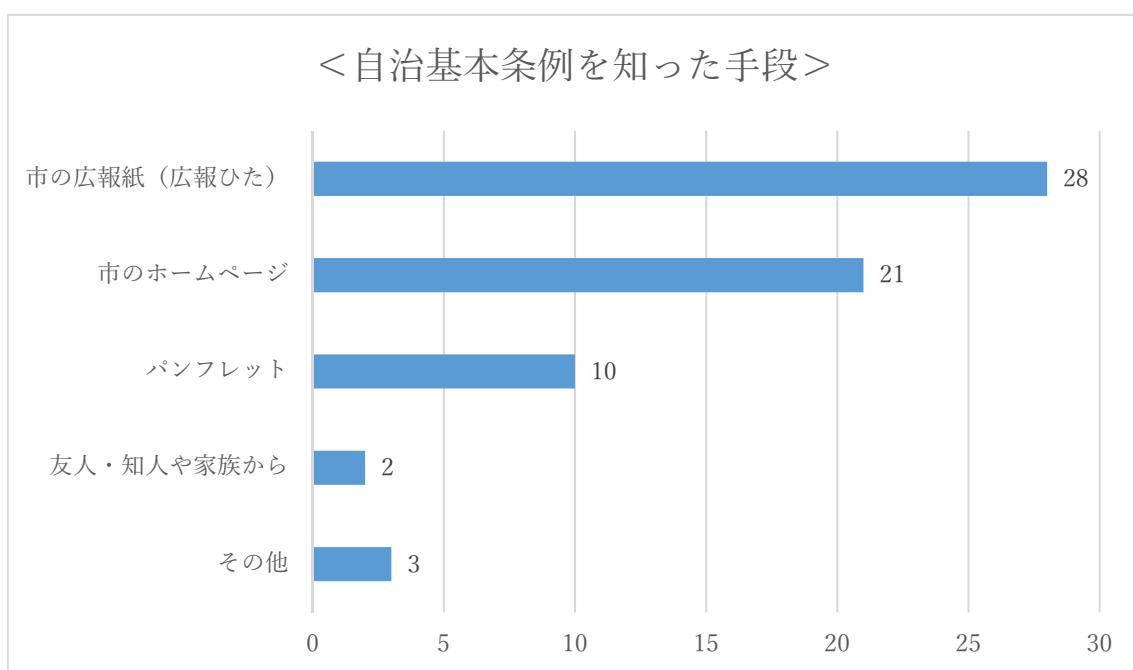
回答者数:43人

条例の内容をよく知っている	13人
条例を読んだことがある	14人
条例を読んだことはないが、名前を聞いたことがある	16人
合計	43人

設問5で「①知っている」と回答した方にお尋ねします。

設問5-2 「自治基本条例」をどのように知りましたか。【複数回答】

回答者数:42人(未回答者有)



(その他の記載内容)

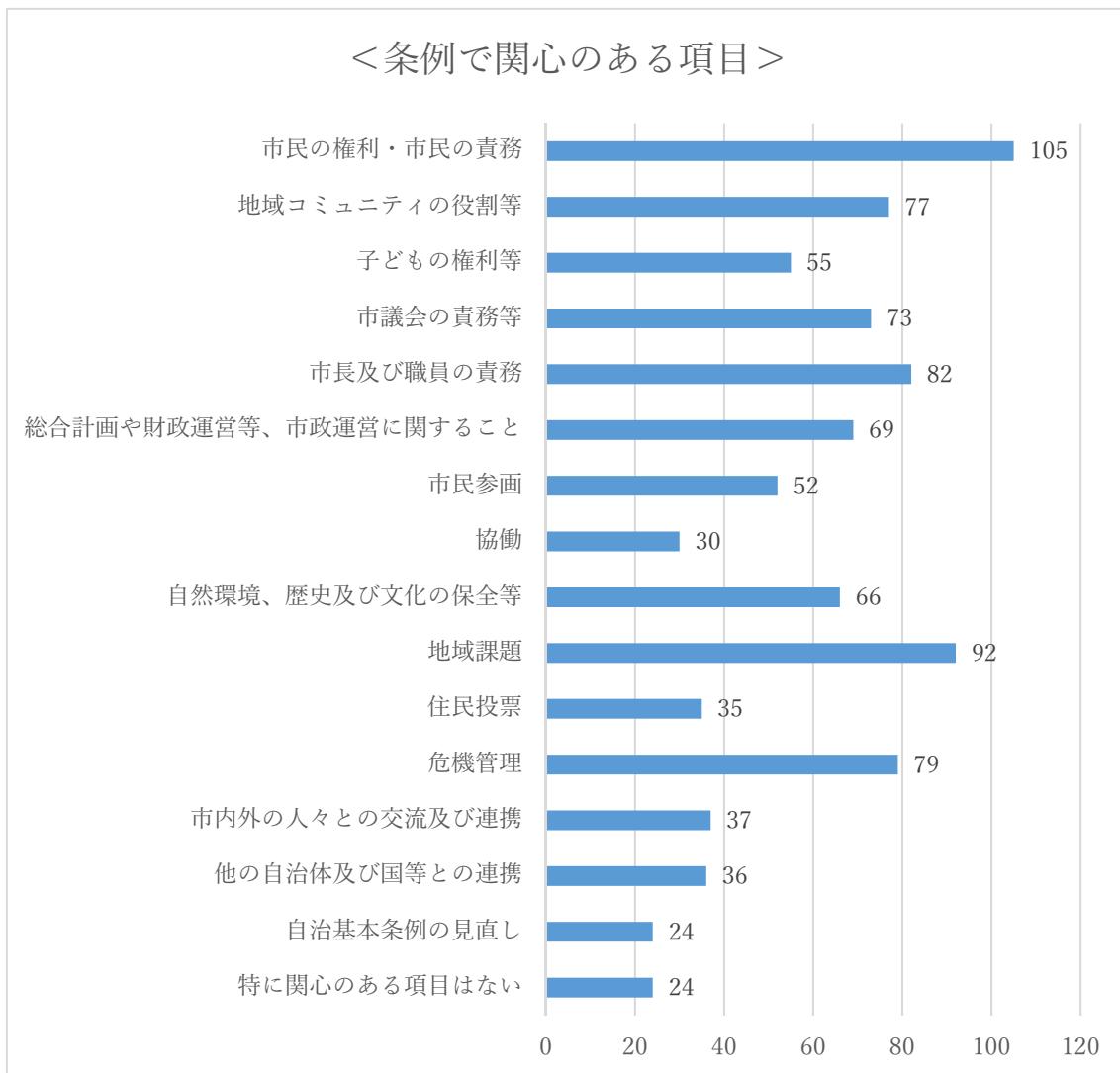
※回答の記載内容どおりに整理しています。

- ・元市役所職員として、業務にたずさわったことから
- ・元市職員だから。
- ・以前、振興協議会で関わったことがある。

設問6 「自治基本条例」には次のような項目があります。あなたはどの項目に关心がありますか。

【複数回答】

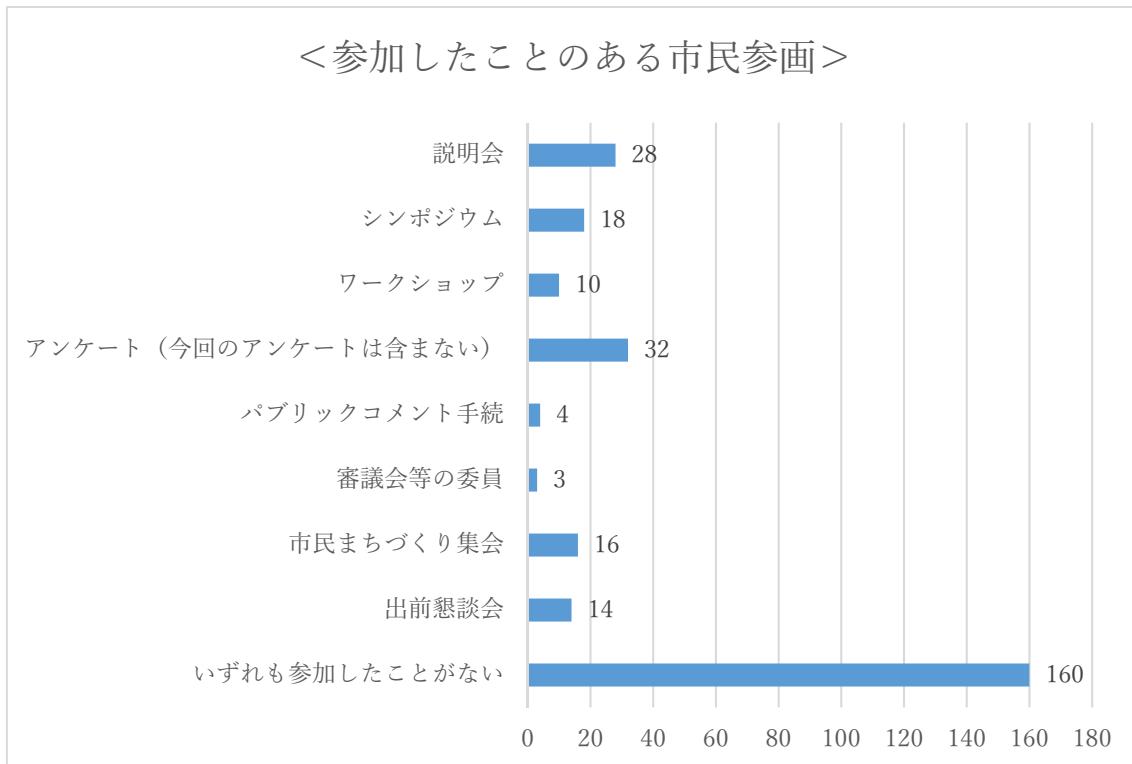
回答者数:231人



設問7 「自治基本条例」は3つのこと(市民参画、協働、情報共有)がポイントとされていますが、この中で市民参画についてお尋ねします。

市では市民の皆さまのご意見を取り入れるため、次のような市民参画の方法を実施しています。これらに参加したことがありますか。【複数回答】

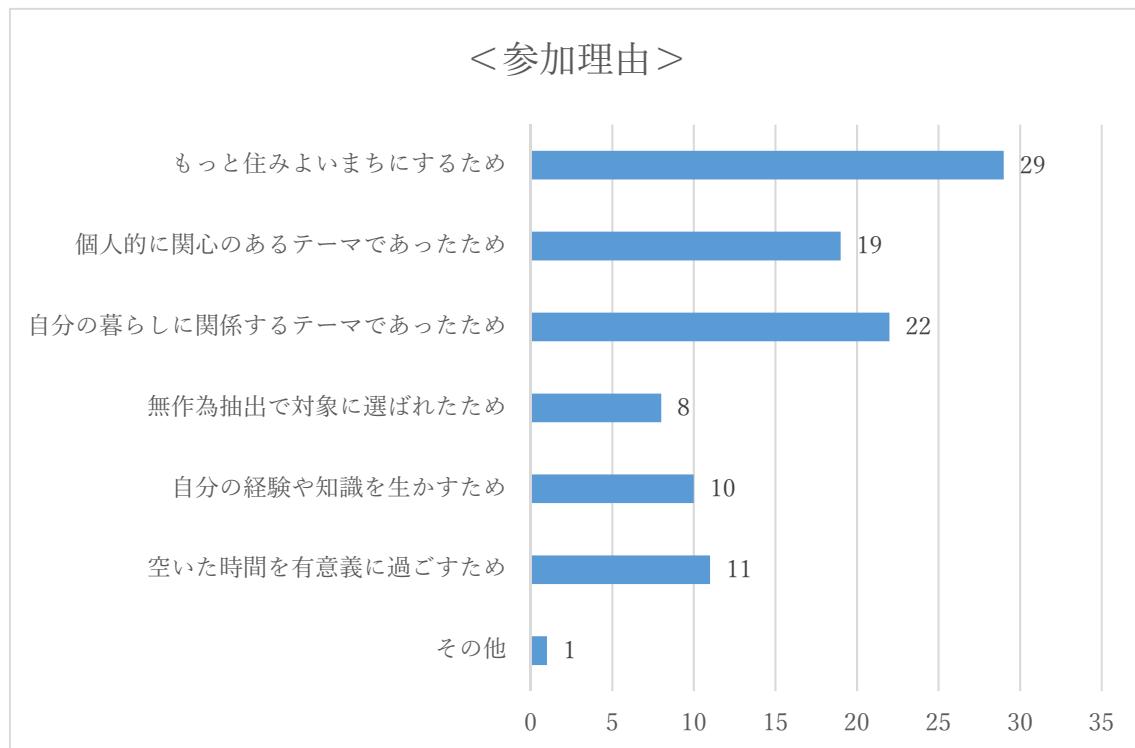
回答者数:231人



設問7で①～⑧のいずれかに参加したことがあると回答した方にお尋ねします。

設問7-1 参加した主な理由は、どのようなものですか。【複数回答】

回答者数:56人(未回答者有)



(その他の記載内容)

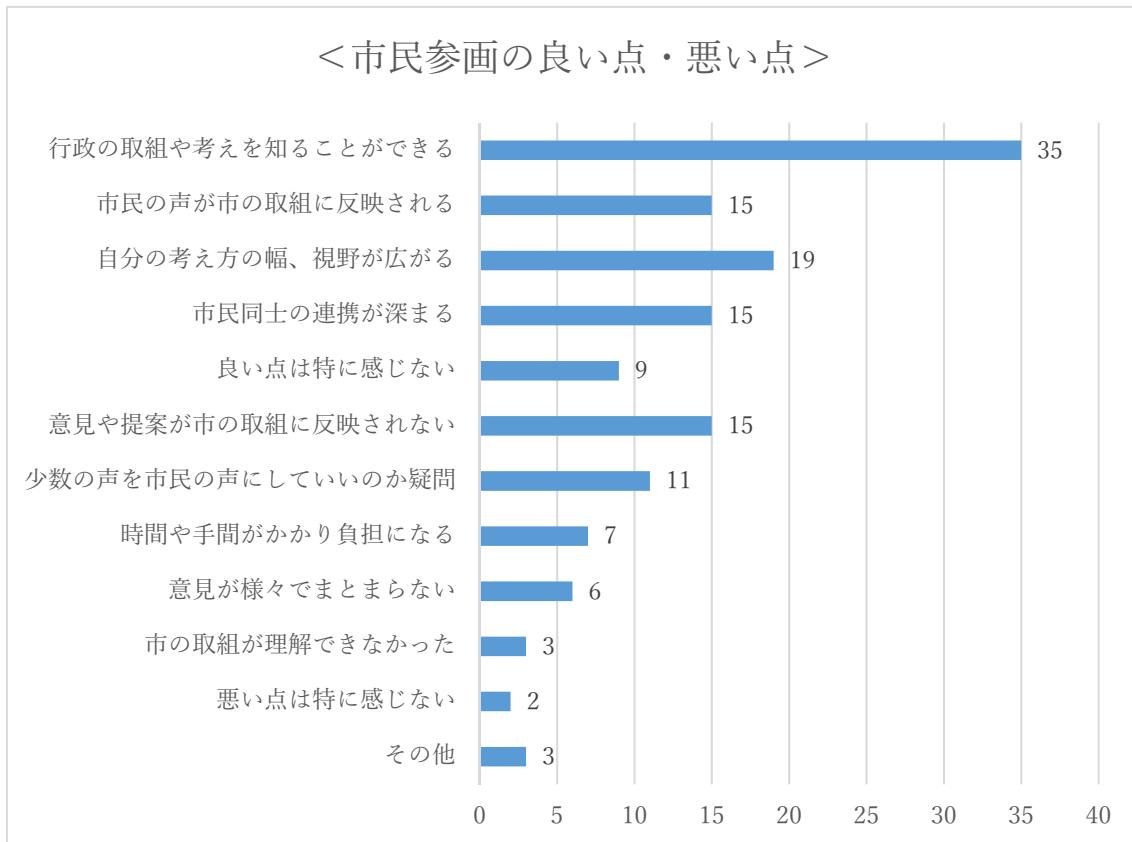
※回答の記載内容どおりに整理しています。

- ・市役所職員として参加

設問7で①～⑧にいずれかに参加したことがあると回答した方にお尋ねします。

設問7-2 参加したことで感じた市民参画の良い点・悪い点はどのようなものですか。【複数回答】

回答者数:59人(未回答者有)



(その他の記載内容)

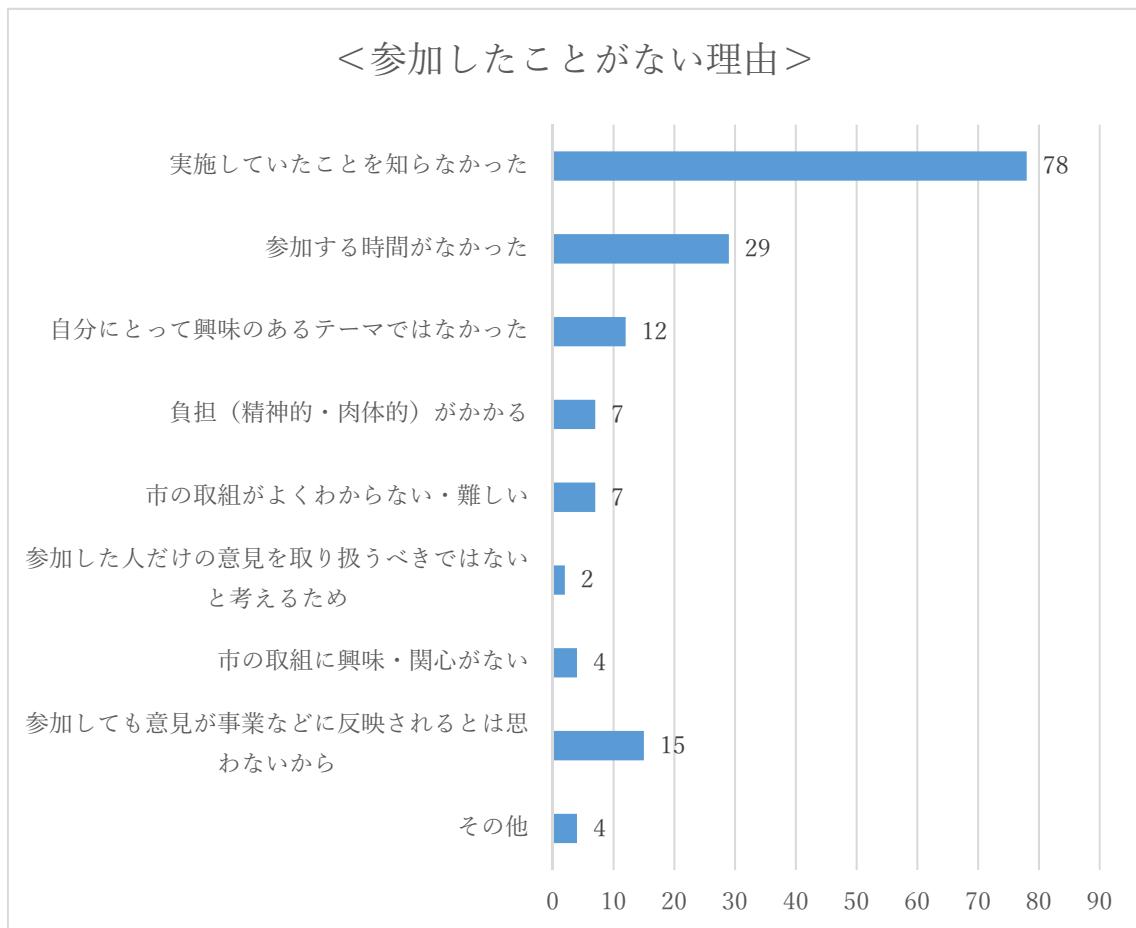
※回答の記載内容どおりに整理しています。

- ・土地利用に関して、所有者の合意が得られていないのに、東京から専門家を呼んでまちづくりプランをどんどん進めていった。納得できないと意見したが（土地所有者とは面識なし）無視されて、プロジェクトが進められたので、そこで離脱。前市長の時代。
- ・市の運営に関しては基本的に市が主体で勧めていかなければならぬのに、住民や委託事業者に丸投げして、外からの傍観者になっているケースが多い。観光課、まちづくり推進課、ただ関わったのが3～4年前なので現状は不明。誰の何のために働いているのかしっかりと職員1人々が認識を持ってほしい
- ・市長の考えが私たちには伝わらない。

設問7で「⑨いずれも参加したことがない」と回答した方にお尋ねします。

設問7-3 その理由を教えてください。【複数回答】

回答者数: 158人(未回答者有)



(その他の記載内容)

※回答の記載内容どおりに整理しています。

- ・参加するのには、敷居が高い! 参加してよいよかわからない。
- ・自分の趣味や家の事が第1、参加する人は特別な人だという思いがあるので。
- ・高齢である、経験がなかいため、参加する事に勇気がいる、
- ・体調悪し

設問8 「自治基本条例」が施行されて11年が経ちました。「自治基本条例」の目的は、「市民を主体としたまちづくりの実現を図ること」です。「自治基本条例」について、ご意見がありましたら自由にご記入ください。(例:自治基本条例のあり方や内容について見直してほしいことや、取り組んでほしいことなど)【自由記述】

※回答の記載内容どおりに整理しています。

私は高校生なのですがこの条例について知る機会がなく知ることができなかつたのでもう少し若年層に知る機会を増やしてほしいです。
生き残るまちづくりのひとつとして、観光業を見直してみる、というのは? 観光資源をもっと有効活用できるのでは? 資金が必要と思うが。温泉を活用したアスリートのリハビリ滞在施設とか。温泉もヨーロッパのような治療・ケア施設にするとか。
県道、市道、国道の管理が足りない。路側帯が草だらけで、歩けない。事故が心配である。
自治基本条例を知らなかったので、施行後、この11年で何か変化が有ったのか? 有れば知りたいと思う。
既存の条例には関係ありませんが、産婦人科医・助産師にLINE等で無料相談できる「産婦人科オンライン」というものを日田市で導入されてはいかがですか。日田市内に現在いくつ産婦人科、産院が残っているのか存じ上げませんが流出した若者が安定期に入ったからといって里帰り出産を選ぶとは思えません。 観光資源のお陰で日田市の税収入が増えたのならばこれから妊娠出産を考えている人たちにも目も向けて制度を整えてほしいです。 近年の若年層の女性は女性特有の疾患を予防する意識や定期的な検査、治療、それを相談できる窓口やカバーする保険などに关心を寄せている人が増えてきていると思ってます。 地方都市でも男女で受けられるブライダルチェック(妊娠前検査)などが充実していて、そういう選択が市内に少ない為に世帯を持ったあとを見据えて隣の福岡市や大野城市や春日市に引っ越していくという側面があるのではないか。 女性の資格取得を支援する講座などを開催しているのはいいことですが、上記に述べた事に関連した取り組みも日田市の公式LINEでは是非今後積極的に発信してほしいです。
公開はされているのだと思いますが個人的にはアクセスする方法を知りません。アクセス方法を広く平易に周知してほしいです。 また11年間で挙げられた要望や課題への対応に対する進捗が知りたいです。

<p>現在各地方での少子高齢化が進み、若者の都会への移住が進んでいます。</p> <p>理由として優秀な教育を求めていたり、環境を求めていたりや、良い労働条件など暮らしに関する理由での移住が多いと思われます。</p> <p>浅薄なイベント等の戦略では痛み止めにもならない現状を鑑みると就労者の他地方との交流や居住空間の勉強等の生活に密着したものを高度化していく必要があると思います。</p> <p>そしてそれを移住された都会へと宣伝する方法等を考えいくことを行っても良いのかなと思います。</p> <p>そう言ったことを実現する為にも、一部の人が繰り返し参加するよりも色んな人の意見が取り入れられる様に就労者の参加しやすい日時での開催するや、SNS等を利用しての幅広い意見を言える場を作つてみるのも良いかと思います。</p>
高齢者になり一人暮らしで交通手段が不安です!
今の所、特にはありません。
子どもの夜間対応できる病院が市内にないのが今後子どもを産んで育っていくのに不安があります。
<p>色々と市「市民を主体としたまちづくりの実現を図る」取り組みをしているのは理解できるが、多くのなもなき市民はその取り組みに無関心であるし、恩恵を受けていると実感していない。</p> <p>関心を持っている市民も役職や肩書きがない者の意見はまず取り上げられないように思える。例えば、意見交換会や審議会などの市民が参加する会のメンバーを見れば一目瞭然。</p> <p>一度、代理でそのような会議に参加した事があるが、他の参加メンバーの肩書きを見れば元〇〇や現〇〇など錚々たる方達が出席。代理のわたしも言いたい事はあったが、意見を述べる事などおこがましく、ただその場に座っているだけの存在でちかなかった。</p> <p>今はsnsなどで小市民も自分の思いや意見を発信できるようになってはいるが、高齢者等の多くはそれさえも出来ない。</p> <p>市は名もなき小市民の小さな呟きにも耳を傾けて欲しいと願う。</p>
<p>色々な要望ができる目安箱をオンラインで設けて欲しい。何処かに集まって会議の場では負担がある。</p> <p>もしこの様な取り組みが既にあるのならば市民に周知されていないのではないか。</p>
(Q13の回答で、複数回答したかったが一つしか選択出来ませんでした。)
ネットなどで気軽に意見や要望を伝えられるようにしてほしい。
障害者(特に精神)雇用をしてくれる企業が増えて欲しいです。働く気持ちがあるのにA型事業所等の作業所やいろんな種類、例えばパソコン業務(データ入力等)の作業所等出来てくれると今は他県まで探しに行ってますが出来れば市内で働きたいのでありがたいです。どうか障害者雇用にももう少し目を向けてくれる事を願っています。
今までに不自由を感じては、いない。

こどもから大人まで幅広くアニメ利用だとわかりやすいのではないかと思う。また SNS 動画 15 ~30 秒で情報発信すれば日田市の方や移住地選択肢になるきっかけになるのではないかと思う。官公庁動画でいえば、農林水産省動画が参考になります。

職員の責務について

心の病気というのは本人も大変苦しいものだと思います。しかし解雇がない公務員立場として、何度も休んでは手当てが切れるまえに復帰した休む…私生活では??の職員もいらっしゃると耳にします。休職中でも公務員の立場であることを忘れないこと、何度も休みを繰り返し適応できない場合の期限をもうけることも本人のためにも、大切な税金のためにも、市民の信頼のためにも必要なではないでしょうか?

まちづくり、山村の再生等の活動で市職員の無関心な姿勢を大いに感じる。

R7.8.10 の豪雨災害では、被害にあった事業者のところに行政は誰も動かなかったと聞いた。
誰の為の日田市なんだろう。

主旨が違うかもしれません、最近思った事

防災無線で黙祷の報せ

あるけど

どのタイミングなのか分からず

時間が過ぎた

折角の報せ

外のサイレンでは分からないので

無線で報せて欲しい

自治基本条例を知らない方が多いと思うので、内容などわかりやすくお知らせしてまず自治基本条例にみんなに興味を持ってもらい、「市民を主体としたまちづくり」を市民が主体的に取り組めるようになると良いと思います。

小中学校でも出前授業みたいな感じで自治基本条例について触れ、こどもの頃から興味を持つことも大事なのではと思います。

今回の事と関係ないのかもしれないが

市議や市長が何をしているのか市民の大半は分かっていない

もっと若い世代の子達が日田に住みたいと思える街づくりをしてもらいたい

若者は日田に魅力を感じていない

早く卒業して日田から出たいと思っている

日田の人口は減るばかりです

このような課題に真摯に取り組んでいるのかと市民は疑問だらけ

今、全国でも始まりつつありますが、学校のプールは不必要なではと思います。市内にある事業者を利用して、冬場でも授業を受け先生の負担及び経費削減、プロによる指導で泳げるか、最低身を守る行動を取れる様になるのではと感じています。

日田は祇園や色々な観光が盛んですが、どうしてもそこに関わる人達の意見や生活のしやすさを優先した取り組みになりがちな気がします。観光とは関わりなく一般市民として生活する私にとっては、普段の生活の場所…例えばスーパーや銀行などを利用するときに、(特に豆田付近)観光客の人の大きな声や大勢で拡がって動く行動をみて、利用をためらうことがあります。レンタカー やレンタサイクルが多いのもあって、駐車場や車を運転するときはヒヤッとしたりすることも多いです

観光客を呼び込んで活気が出るのは悪いことではないと思いますが、現地で普段の生活をしている人達が、観光客や商業施設の繁栄のために我慢をしたり、迷惑をかけられるのは仕方ないで済ませてはいけないので私は思います。観光客専用の駐車場を確保するなり、時間を決めて一方通行にするなり、お互いがストレスとなるべくかからないように気づかえる工夫を行政としても考慮して進めて欲しいと思います

市民を主体としたまちづくりの意味合いを、市職員が勘違いしている。そのための税金でしょ?
ただの受付や事務処理だけなら、その給料は高すぎる。

市民を主体にするならもっと大々的にアピールして市民が声を上げられる仕組みを作るべき。まずこの条例の認知度がどれほどかを公表して欲しい。

年齢、性別、国を問わず、全ての人が共に過ごし、助け合えるような市にして欲しいと思います。

今までいいです。

そもそも自治基本条例というものがあることさえ知らなかった。
その様な条例がある事を今まで市民に対してどのような形で知らせていたのか。
どの様な人にも届くような方法で且つ内容を分かりやすく知らせていたのか。
その条例が出来たことによって、過去どの様な所が改善されたのか。
また、多くの市民にとってその条例は生きているのか、条例が出来て良かったという実感は市民に広がっているのか。

住み良い町つくりとありますが市役所通りは雑草が目立ち植え込みも伸びて整備が手薄になっていると思います。公共の施設の周辺も雑草が気になります。

知らないからなにも言えない。

もっと、身近なものになるように、市民と議会の関わりが深まる取り組みに期待したい!

地形的に市中心部から外れていると、市の管理すべきものから外れている。そして個人自費での修理や修繕をするよう求められる。

この事が主因と考えたくないが、市行政の矛先は市の中心部に向けられ、市の職員の多くが結婚を機会に、出生地を離れて市の中心部に住居を移す事が、一つの証左かも。

市の周辺部に住む若者が転出するきっかけともなっているようだ??

何も変わらない。取り組んでも意味がない。

これからの未来を担う子どもたちの教育に関しての予算がことごとく減少しており、本当に人を育てるつもりがあるのか疑問を感じます。田舎だからとかではなく、もう少し今の世の中を俯瞰して、何が必要かを考え直さなければいけない時がきていると思います。他の自治体と足並みを揃える必要もあるかと思いますが、もう少し踏み込んだ改革をしてもらいたいと一納税者として切に願います。

ソーラーパネルで自然が壊されるのは嫌なので、市として許可しないでほしいです
外国の方が土地を買うには制限や制約を設けてほしいです

過疎対策

財源と市民サービスは、反比例するのではないか。出来ないサービスは出来ないと言うべきと思います。

予算が無い、順番があるなどなど
個人、市民からしたらもう少し
言い様があると思うが
確かに、それが、本当の答えて
あろうが、何か府に落ちない

他県の方が進撃の巨人聖地巡りで来られた時、移動の大変さからレンタカー必須と言われていました。車の運転が出来ない人もストレスなく聖地巡りができるようタクシープラン等、もっと増やしてほしいし、宣伝してほしいです。

自治基本条例は議会制民主主義と相入れないので。
子ども等、未だ選挙権を得ていない者の意見を聞く事は大事だと思うけど

市民を主体とした言葉をはき違えてる人が多い
自分の権利ばかり主張している

持続可能なまちづくりをして行くことが大切と考えています。まちづくりに参画する場が、その時々の流行や、特定の方にとって幸福度を高める取組を主張する方達に支配されてはいけないと思います。その舵取りをするのは政治家です。色々な考えが集まることで、日田市というまちがより良くなるとは思いますが、将来世代への負担を考慮することや、時には冷静になって自分のエゴではないかと振り返ることが大事だと思います。言うだけは簡単です。まずは、政治家の皆さんに、短絡的な発想に陥ることなく、現実的に持続可能なまちづくりを考える姿のお手本を示してほしいと思います。これから人口が減少する中で、「無理をしない」がキーワードになると想っています。

今回を機に自治基本条例というものを拝見してみました。1番目に止まったのは「みんながしあわせを感じることができる住みよい地域社会の構築を進めていかなければなりません」という文章でした。

今の市ってみんなにとって住みやすいのか?と考えてみると、市や市長の方向は子どもにしか向いていないなと感じております。人口減少が進む中で、子どもたちは大切な宝ではあります。

ただ、なんでも無償化して一時的に子どもを増やすだけでは条例にあるような日田は実現できないと思います。

生産人口である大人や、今まで働いて日田を支えてきたお年寄りの方々、そのような世代こそが元気で生き生きして生活できてこそ、条例に掲げているような地域コミュニティの形成や、協働が実現できるという風に感じました。子どもの居場所づくりには一生懸命さを感じますが、若者や高齢者の居場所づくりはどうでしょうか? よく、高齢者の方たちから、どうせ俺たちは死ぬだけだから何の支援もないんだよ。子どもは何でも無料で、年寄りはのけものという声を耳にします。

アフリカでは、老人が1人亡くなると図書館が1つ消えるといいます。それだけ、年配の方の知恵は偉大であるということです。例えば、お年寄りが子どもと一緒に遊べる機会の構築など、お年寄りにとっても生きがいとなり、子どもにとっても貴重な機会となる、そのように社会全体にしあわせが循環していくような体制づくりや、子どもたち向けに、博物館等がいろいろなイベントや教室、展示会を行ってくれていますが、ほとんどは退職した先生たちの善意で、ボランティアだとお聞きしたことがあります。金銭的理由や高齢化によりいつまでできるかわからないという話も出ているそうです。そういう博物館や図書館、咸宜園など、学びの場、ひいては社会教育等の拡充は、子どもの居場所づくりにもなり、高齢者の居場所づくりでもあり、前文にもあるように先人が守り育ててきた素晴らしい自然、歴史、文化に満ちたこのまちに、私たちは、誇りと責任を持ち、これらをより発展させ、次世代に引き継いでいくことに繋がると思います。

11年の月日が経ち、時代は変わってきたため、仕方ないかもしれません、きちんと、市民全員を主体としたまちづくりの実現を図ることを実現できるような条例にしてほしいと思います。子どもたちが故郷を誇りに思える街ではなく、市民ひとりひとりが誇りに思える日田を目指してほしいです。子どもが大事とか、お年寄りが大事とか、若者が大事とか、優先順位なんてないと思います。全てが大事な大切な日田市民である、みんなが住んでよかったと感じれる日田になってほしいです。目先の子育てを支援するのではなく、どの世代も生き生きとして、元気な社会であれば、そんな日田で子育てしたいと思える人も増えてくるのではと思います。

行政、市会議員、企業が同じ方向をみて、日田市をよくしてほしい!

論点がズれるかもしれません、現在の日田市の少子化を危惧しています。子どもが産まれない地域が今後活性化することはないのでしょうか。日田市が衰退しないためにも、妊娠・出産に対する支援や取り組みを強化していただけると嬉しいです。(出産が宮原レディースクリニックさんでしかできない点も不安視しております。)

行政用語をもっとわかり易くした方が良い。中央省庁で考えたものは、非現実的で国民に理解して欲しいとの思いが伝わらない。
周辺地域の振興策を早急に作成し、住民説明会を開催して、実行に移すよう計画してほしい。
市民の意見をどのように解決しているか開示してほしい
現在、市長、副市長は積極的に市の行事、市民に溶け込んでいるようですが、市職員がもう少し市民に接して公務員らしからぬ行動をしてもらえたうんどうかな。
5時まで人間でなく、先進地などに出向いてダイナミックに仕事をしてもらいたい
「自らのことを自らの手で行うことを基本原則として、市民主体のまちづくりの実現を図る」って、難しくてよく分からぬのですが、簡単に言うと、元気で暇な年寄りをタダで利用して、役所の負担を減らそうってことですね。
高齢化が進む中、地域で支え合う地域づくりが大切になってくるが、人ととの関わりが希薄になってきているのが課題ではないだろうか。高齢者世帯、子育て世帯、仕事中心世帯など、それぞれ「つながる」余裕のない状況もある。
各地域の自治会長、民生委員への負担も大きいし、担い手も少なくなってきた。支え合う地域づくりの啓発とともに、仕事をしながらでもできる役員活動や自治会組織の仕事分担のあり方など 改善案、改革案を示してみたらどうだろうか。
市民の意見を聞く機会を増やして欲しい
地域は高齢者ばかり、自身もそこに差し掛かる年齢ですが普段は仕事で地域活動に出れるのは休みの日だけですが、平日に活動をしなければならない事があり負担に感じる。定年しても経済的に仕事を続けなければならないから、家庭的にも地域的にも なんだか先の見通しがたたない
まずは、日田市に愛情を持ち、日田市民であることに誇りを持てるような事を考えて下さい。そうでないと、自ら行動しようとは思わないのではないか。市民の多くは慣れすぎた自分の町に魅力を感じていないのでは? 好きでないことには、取り組めない。
子供がいないので、なかなか地域行事等の情報が入らない。
取り組んでいただけるのはありがたいですが、いつも中途半端に終わっているような感じです。やるなら最後まで結論が出るまでやらないと経費の無駄使いです。最後までよろしくお願ひいたします。
Q13 は複数回答可能との方でしたが一つしか選べませんでした。
プラスアップしたことについて、具体的に教えてほしい。11年経過して、課題が浮き彫りになったことを教えてほしい。
補助金やサービスなどの情報をもっと発信してほしいです。知らないことがおおいです。
市役所に質問に行けば教えてくれますが、聞かなければ知らないことがおおいです。市民を主体といってるが、市民の暮らしやすさや働きやすさには結びついてないよう思います。

人口減少が予測より早く進んでいる。 今までのやり方や体制を縮小したやり方でやっていくのか、日田市がどのような方向でいくのか 市長の方向性が見えないし わからないので協力しにくい。
ひくに市内中心部はマンションなど 建物だらけになりました シャッター通りを整備して 雰囲気変えられたらイメージが変わりますよね 進撃の巨人一色にしてしまうのもひとつの案ではないでしょうか？
知りませんでした。ホームページを見ましたが分かりにくかったです。
空き家、空き地の対策で 市が積極的に処理や利用して行く！